

記入例

様式第6（第1条関係）

水面の埋立干拓概要書			
施行地の現況	自然の沼地 水深 1m	周辺の地盤との関係	隣地地盤より +0.5～+1.0 m
施行の目的	駐車場整備のための水面の埋め立て		
行為の面積	80 m ²	行為地の所有別	自己所有地 ・借地
施行方法	埋立地には土を運び入れて整地するが、舗装はせず自然土のままとする。護岸は自然石による多自然型工法を採用し、水際は地形に馴染むよう自然なラインとする。護岸の自然石には隙間を設け、自然植生の回復や水生生物の生息環境の確保に配慮する。		
木竹の有無及びその処理方法	有・ 無		
跡地の処理方法	埋立地の周囲には、周辺に自生する在来樹を植栽し、良好な風致の維持を図る		
その他参考事項			

- 備考 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
- 2 木竹の有無及びその処理方法の欄には、木竹の種類、樹齢、本数、高さ及びその処理方法を記入すること。
- 3 必要があるときは、所要事項を調整して使用することができる。